

## NIE実践報告

1. タイトル 新聞を通して生きた「現代社会」を学ぶ

2. 学校名

栃木県立那須青峰高等学校

3. 実践者名(代表者名)

主幹教諭 河原英明 教諭 小滝雅人

4. 学年

第3学年

5. 教科・領域名および受講児童・生徒数

現代社会 158名

6. 単元(本時の学習課題)名

新聞によるニュースの取り上げ方の違い

7. 目標(狙い)

同一のニュースについて、各紙の取り上げ方の差異に着目させる

8. 評価の視点

新聞を2紙以上比較し、ニュースの取り上げ方(肯定的な書き方か否か)について比較できたか

9. 年間指導計画における本単元の位置づけと時数

(または、単元展開および時数と本時の位置づけ)

日本国憲法の学習を補強するための教材として、政治や経済などについて現実の話題に関心を持たせるための一助とする。(3時間扱い)

10. 単元(本時)の学習展開(含む時数)と留意点

\* 学習展開

- ① 同一日の新聞で、同じニュースを取り上げている記事をチェックし、見出し及び記事の要約を作成する。
- ② 班内で同じニュースについてまとめたものを報告し合い、一覧表を作成する。
- ③ 班ごとにとりまとめたものを、クラスで発表する。

\* 留意点

- ・班は5～6人で編成し、話し合いをしやすい環境とする。
- ・各社の取り上げ方の違いを際立たせるため、ニュースについては政治関連ニュースに限定する。
- ・記事の要約に際しては「5W1H」を明確にしてまとめさせるようにする。

11. 児童・生徒の反応、感想・意見

- ・班ごとに同一日の新聞7紙を配布したが、日によっては共通するニュースを探すことに時間がかかっていた。
- ・記事の要約について、「5W1H」の理解が薄く、なかなかまとめられない生徒が多かった。

12. 成果と課題

- ・生徒によっては、日頃「テレビ番組とスポーツ欄しか見ない」という生徒が多かったが、震災関連や管政権をめぐる話題などについて、ある程度関心を高めることに役立った。
- ・記事要約を通して、「考えながら書く」ことへの慣れを身につけさせたかったが、学科によっては苦手意識が抜けない生徒も多く見られた。
- ・学期末に実施したため、学校行事と重なってしまい、予定した時間が確保できないクラスもでてしまった。